

香南市産業振興計画
推進分野別部会からの報告書

● 農業部会	1 ページ
● 林業部会	5 ページ
● 水産部会	8 ページ
● 商業部会	13 ページ
● 工業部会	19 ページ
● 観光部会	23 ページ
● サイクリング専門委員会	27 ページ
● 住宅部会	31 ページ

部会開催日:R3.5.7(金)

令和3年度 第1回 香南市産業振興計画 農業部会 報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎竹内 淳	JA 高知県 香美地区 園芸部	出
2	○立仙 裕二	香南市認定農業者連絡協議会	出
3	石丸 典男	JA 高知県 香美地区 果樹部	出
4	百田 彰和	香南市有害鳥獣被害対策協議会	出
5	野川 博志	JA 高知県香美地区香美営農 経済センター(販売営農指導課)	出
6	日和崎 一弘	高知県農業共済組合香美支所	出
7	矢野 広章	高知県中央東農業振興センター 農業改良普及課	出
8	山本 茂夫	香南市農業公社	出
9	山本 作	高知計画推進課	出

	氏名	所属	出欠
1	小松 靖生	農林水産課	出
2	小松 大洋	農林水産課	出
3	小田 弥生	農林水産課	出
4	松岡 修司	農林水産課	出
5	國常 雄太	建設課	出
6	小林 辰徳	商工観光課	出

☆ 当日の流れ

1. 開 会

2. 議事進行

- ① 令和2年度の総括について
(令和2年度の新型コロナウイルス感染症関係事業含む)
- ② 令和3年度の取り組みについて
(令和3年度の新型コロナウイルス感染症関係事業含む)

3. その他

- ・令和3年度のスケジュールについて

4. 閉 会

○『令和2年度の総括』について【PDCA】

【P】（目標値）

- 令和2年度目標値 : 『 新規就農者数 10人 /年 』
- 令和2年度実績値 : 『 新規就農者数 10人 /年 』

【D】（実行内容）

数値目標である「新規就農者数」は、毎年10月末から11月にかけて高知県中央東農業振興センターより公表される「前年度の新規就農者数」であり、今年度の数字は確定していない。

新規就業者の獲得に向けた取り組みは以下のとおり。

- 新型コロナウイルス感染症の影響により担い手確保に向けた取り組みの実施はできなかったが、コロナ禍で農業への転職等を検討する方も多く、相談件数は28件であり、うち就農の方向性が定まった方は14件となった。
- 新規就農者の状況を把握するため高知県中央東農業振興センターやJA高知県と連携をとり、サポート体制の充実を図った。
- 人・農地プランの実質化を全地区行った。各地区の課題がどのようなものなのかが整理することができたことから、今後は、各地域で課題解決に向けた取り組みを行えるような組織づくりを進める等、引き続き会合等を開催していく。

【C】（チェック/確認）

- 就農相談については、将来的な相談が多く、即研修・就農にはならなかった。
※R3年度の交付予定者は2名。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により毎年参加していた県内外での就農相談会に参加できなかったこと等も影響される。

【A】（アクション /改善）

- JA高知県、高知県中央東農業振興センターとの情報共有や広報掲載、時期は未定ではあるが東京・大阪で開催される「新・農業人フェア」「高知暮らしフェア」や、11/20に高知市（アグリコレット）で開催される就農相談会へ参加する。

- 関係機関と継続者の営農支援(就農状況確認等)をしていく。
- 農業大学校、農業担い手育成センターとの連携し情報を収集しながら PR 用チラシを配布する。
- 感染予防を徹底し、秋頃にみかん、ニラの収穫体験モニターを実施する。

○ 令和2年度の総括についての意見等

【主な意見】

◇ 新型コロナウイルス感染症関係事業について

- 補助対象は新型コロナウイルスの影響を受けた事業者のみか。
 - 新型コロナウイルスの影響により、前年度よりも売上が減少した事業者を対象としている。
- 減少原因が新型コロナウイルスによるものかどうかの確認は取れているか。
 - 申請時に内容を確認している。

◇ 農業後継者推進事業について

- 令和2年度は目標6名に対して、実績が1名と非常に少なかった。
令和2年度以前はどのくらいの実績があがっていたか教えてほしい。
 - 平成28年は10名、平成29年は13名、平成30年は15名、令和元年は7名の実績であった。(平成28年～令和元年については新規・後継者を合わせた数)
- 平成30年に上がって徐々に下がっているように感じたが今後の見通しは。
 - 現時点で3～5人が事業を使う予定である
- 途中で補助要件に該当しなくなった場合、補助金の返還はあるのか。
 - 補助を受けている2年の間に要件から外れた場合、補助金の返還がある。
- 2年間親元就農をしていた方が3年目から独立した場合は補助金の返還対象にはならないのか。
 - 農業は続けているため返還にはならない。補助金が無駄にならないように支援していく。
- 親元就農者の中で、親子間で意見が割れて、独立する事例はあるか。
 - 独立とまではいかないが、うまくいっていない事例はある。
相談を重ねて双方の話を聞き、間に入って支援もしたが、どうしてもうまくいかないケースもある。

- 後継者不足の原因は親子間のすれ違いもある。
経営自体を変えて独立していく形をとらないと親子間はおもむく。そういう指導も後継者にしたらいいのかなと思う
 - 親子間では言いやすい面があるからこそ、お互いが感情的になることがある。
プライベートのところもありデリケートであるため、慎重にアドバイスをを行いながら経営継承にも力を入れて支援していく。
- 目標値が高いため、目標値を再構築するべきではないか。
 - 実績から根拠つけて目標値を置いている。年によって大きな幅があり目標値通りにいかない部分もある。
 - 目標としている数値なので今のままでいいのではないか。

○ 令和3年度 of 取組についての意見等

【主な意見・提案】

- 令和3年度の取り組みはどうしていくか。
 - 令和2年度の事業を継続していく。
 - 新規事業等はないが、R3年1月に開催された産業振興計画策定委員会では、空きハウスの活用についてご意見もいただいた。
このことについては、高知県農業公社がすでに取り組んでいるが、市の農業委員さんや関係機関、また、人・農地プラン等と連携して取り組んでいく。

◇ 既存の事業について

- 農業施策はかなり手厚くしていただいている。しかし、後継者や新規就農者になってもらえるのか不安である。
また、新規就農をしても農業を継続してくれるか不安である。
 - 他の産業と比較しても施策は手厚い状況だが、補助金だけではなく、農業の魅力もあわせて伝えていく。
また、新規就農者に対しては、継続して農業ができるように、栽培や経営面に対してサポートを行っていく。

◇ 研修ハウスについて

- 次の利用者がいない場合は、研修ハウスが空くので延長できないか。
 - 同じ人が何年も使うというのも、平等性に欠ける。新規利用者がすぐに利用できなくなる場合も考えられる。
 - 利用期間が空かないように、入出のバランスがとれることがベストである。

部会開催日:R3.5.12(水)

令和3年度 第1回 香南市産業振興計画 林業部会 報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎三谷 幸寛	香美森林組合	出
2	○西岡 洋典	高知県中央東林業事務所 振興課	出
3	清藤 好弘	香美森林組合	欠
4	恒石 健一	林道愛護員	出
5	久保 肇	WOOD LIFE	出
6	井上 美穂	(公社)高知県森と緑の会	出
7	堀田 幸生	雑木バードカービング作家	欠
8	山本 作	高知県産業振興推進部 計画推進課	出

	氏名	所属	出欠
1	小松 靖生	農林水産課	出
2	小松 大洋	農林水産課	出
3	小田 弥生	農林水産課	出
4	三谷 啓介	農林水産課	出
5	児玉 亮太	農林水産課	出
6	三谷 啓介	農林水産課	出
7	小林 辰徳	商工観光課	出

☆ 当日の流れ

1. 開 会

2. 議事進行

- ① 令和2年度の総括について
- ② 令和2年度の新型コロナウイルス感染症関係事業について
- ③ 令和3年度の新型コロナウイルス感染症関係事業について

3. その他

4. 閉 会

○『令和2年度の総括』について【PDCA】

【P】（目標値）

- 令和2年度 目標値：『間伐面積 25ha /年』
- 令和2年度 実績値：『間伐面積 25.4ha /年』

【D】（実行内容）

- 新型コロナウイルスに関する事業として、緊急間伐総合支援事業補助金の保育間伐の単価を従来の10,000円/haから見直し、森林環境譲与税を活用して100%補助を新設した。
- 実績値に反映はしていないが、新型コロナウイルスに関する事業として、香南市有林(香我美町撫川カナツキ)で、搬出間伐を2ha実施した。

【C】(チェック/確認)

- 保育間伐の100%補助については、令和3年度以降も継続し、更なる間伐面積の増加へ繋げていく。
※ R3年度、R4年度の数値目標は上方修正を行う。

【A】（アクション /改善）

- 引き続き緊急間伐総合支援事業の100%補助を活用し、保育間伐を最大35ha実施予定。
- 市有林の間伐についても、残り73.95haを年度中に実施予定。
※市有林の間伐事業は目標値への反映は行わない。

○ 令和2年度の総括についての意見等

【主な意見】

◇ 意向調査について

- 森林簿と登記簿の面積でこんなに差が出るものか
 - あり得る。登記簿は実際の森林面積より少ない面積で登記されていることが多い。
- 目標値は意向調査を市が発送した面積か。それとも実際に回答があった面積か。
 - 回答があった面積である。
回答があり、所有者が判明することで、その後の森林境界明確化や間伐が実施できるため、事業の連動性を考えて回答があった面積としている。

◇ 森林管理制度間伐委託業務について

- 令和2年度中に具体的な施業地を選定するに至らなかった理由は。

- まず、森林境界明確化が完了しないと、その場所を特定できないが、森林境界明確化に時間を要したことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響の事業等により取り組みが遅れたことから、未完了となっている。

○ 令和3年度 of 取組についての意見等

【主な意見・提案】

◇ 森林境界明確化について

- 森林境界明確化の今後の予定は。

- 令和2年度に意向調査を実施した仲木屋を最優先で実施する。
意向調査 → 森林境界明確化 → 間伐の実施 というフローがあり、時間を有するため、意向調査から時間が空きすぎないようにする(所有者の意向が変わって、もう一度調査が必要になることを防ぐ)ため、意向調査済みの仲木屋から優先的に実施する。

◇ 緊急間伐総合支援事業について

- 令和3年度はコロナ対策の緊急間伐総合支援事業の100%補助や市有林の間伐もあり、目標値の25haを超える見込みであるが、目標値を上げるのか？

- 目標値を設定した時点では、新型コロナウイルス対策を考慮されていない。
今後、幹事会、策定委員会で図った上で目標値を見直す。
 - ※ 部会后、市有林間伐については、新型コロナウイルス関連の事業であるため、目標数値から外すことを決定。
 - ※ 緊急間伐総合支援事業の保育間伐については、新型コロナウイルス対策として、100%補助を新設したが、従来からの事業であるため、今後も目標数値とする。

◇ 木育事業について

- 目標数値を上げるのか。

- 当初の木育イベントや森林体験学習を11回開催という目標数値は、市内の保・幼・小・中学校22校を2年かけて1周するという設定した。
しかし、22校以外にも、森田村塾や民間の施設等からも相談があり、それらも含めて実施する点や木育関連の事業の一環として、市内の新生児に木のおもちゃを贈呈する「香南市の森からの贈り物事業」も新設したため、それらも1事業と見なし、R3年度からの目標値を13に上げることとする。
- 「香南市の森からの贈り物事業」は1つの事業として、数値目標を設定しないのか。
 - 新生児の数は、努力で伸ばせる要素が少ないので、1つの事業として分けませんが、木育事業の1事業と見なししていく。

○『令和2年度の取り組み状況』について【PDCA】

【P】（目標値）

○ 令和2年度 目標値 : 『沿岸漁業総生産額 285百万円 /年』

○ 令和2年度 実績値 : 『沿岸漁業総生産額 290百万円 /年』

目標数値である「沿岸漁業総生産額」については、目標値(沿岸漁業総生産額)285百万円に対し、実績値は290百万円であったことから、取組評価はAとした。

【D】（実行内容）

【地産の強化】

- 新型コロナウイルス感染症対策として、生産性の向上、経営の安定化を図るため、「水産業活力支援事業費補助金」を策定し、燃料費等の運営経費に一部の支援を実施した。
 - ▷ 内水面養殖業 4件 海面漁業者 21件 計 25件

【流通販売の強化】

- 新型コロナウイルス感染症対策として、新しい生活様式に対応した商品開発・衛生管理に必要な機器整備等の国・県支援策を各加工業者へ周知した。
同時に、「市産業振興計画推進事業費補助金」についても周知し、1件の取り組みを支援した。
- かちりじゃこの学校給食への試験的な納入を開始し、9月以降は定期的な納入となり目標値を大きく上回った。またシイラの納入も継続して実施した。

【担い手の確保】

- 吉川バッチ網船主会総会での就業支援制度の説明を実施。
- (一社)高知県漁業就業支援センターホームページに10月より求人情報を掲載(2経営体:雇用型)。
- R2.12月より吉川において、1名短期研修を開始し、1月より「雇用型漁業支援事業」を開始した。

【C】 (チェック/確認)

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、シイラについては、県漁協手結支所の販売事業において、大口取引先との取引量が大幅に減少していたが、担当者の販路拡大の努力より、目標値の79.5%、前年度比75.5%まで回復したことから、浜値の下支え機能の維持に繋がっている。
- また、イワシシラスは年度当初は例年になく漁獲が少なかったが、秋以降増加し昨年並みに回復した。
そのほか、「水産業活力支援事業費補助金」により漁業者の経営の安定化を図ることにより、好不漁の影響を大きく受けやすいが、沿岸漁業総生産額は、目標値を達成することができた。
- シラス加工業者へのヒアリングは支援策周知が主になり、魚価向上に向けた取組のヒアリングは未実施に終わった。
- ここ数年は新規漁業就業者の確保に至っていない状況であったが、今回当市で初めて雇用型での新規漁業就業者であり、今後の就業者確保の先進的な事例となる。

【A】 (アクション /改善)

- 「新しい生活様式」に適合するような商品(通販・持ち帰り可能品等)を開発する事業者に対しての支援を検討し、商品化することにより市内水産物の利活用を促進させ、もって地域の水産業の振興及び経営安定を図ることが必要である。
- イワシシラスの魚価向上に向けて、加工業者へのヒアリングを行っていく。
また加工品販売額の目標値設定についても併せて協議していく。
- 部会の委員として内水面漁業関係者がいない現状で、部会においてどのように意見を汲み上げていくか関係者と協議していく。

○ 令和2年度の総括についての意見等

【主な意見】

◇ 沿岸漁業総生産額について

- 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中、目標値である「沿岸漁業総生産額」が目標を上回りA評価となっている理由は。
 - イワシシラスは年度当初は例年になく漁獲が少なかったが、秋以降増加し昨年並みに回復した。
 - ※ 平成24年度から平成30年度までの沿岸漁業総生産額のうち、最大値・最小値を除いた平均値を算出し、伸び率10%（浜の活力再生プラン10%以上向上を引用）を考慮し算出。

◇ 水産業活力支援事業費補助金(燃油経費への補助)について

- 漁業者が沖へ行かないと金額(魚)はあがらない。今後も継続して燃油補助を実施してほしい。
 - 昨年の新型コロナウイルス感染症の拡大により、全国に緊急事態宣言が出され、その支援として昨年3月から6月に使用した燃料等の補助を行ったものであり、現在も首都圏では拡大している状況ではあるが、R3年度に実施する予定は現在のところない。
ただし、この事業を実施したのは、香南市・芸西村のみであり、県にもこの補助制度について情報提供を行っている。

○ 令和3年度 of 取組についての意見等

【主な意見・提案】

◇ 内水面漁業に関する取り組みについて

- 内水面漁業への取り組みを検討するということであるが、部会で意見がでていない。今後議論をどうしていくのか。
 - 数年前に内水面漁業関係者に部会の委員になっていただくため、関係者を回りお願いしたが、引き受けていただけなかった。
そのため、事務局が不定期で関係者を訪問し現状等をお聞きして部会で報告したが、なかなか意見が出ない状況である。
 - 現在も継続して訪問をしている中で、お聞きした現状の報告、また今後の内水面漁業の制度についても説明し、皆さんで理解を深めて議論できる体制にしていく。

◇ シラス加工品販売額向上に関する取り組みについて

- 加工品販売額の目標値及び設備投資支援策の検討について現在の状況は。
 - 目標値については、件数が少ないこともあり、どのような設定がいいか苦慮している

ところである。加工業者にも不定期で事務局がお伺いしてお話を聞いているのでその中で意見を求めていく。

- 設備投資支援策につきましては、加工業者の意見を基に検討していきたいと考えている。

昨年度はコロナ関係の支援制度の説明が主になり、行っていないのが現状である。なお、昨年船主会の総会に参加し、漁業者からは加工業者に高く買ってもらうために加工業者への支援を検討するべきとの意見もいただいているので、引き続きお伺いした際にヒアリングを行う。

◇ かりりじゃこ学校給食への納入について

- かりりじゃこの納入目標が今年度 20 回となっているが、昨年度実績値は 58 回になっているので、目標値を上方修正したらどうか。
 - 当事業は R2 年度より試験的納入を開始した。
試験的納入ということもあり月 1 回の納入で目標値を設定していたが、秋以降から定期的に納入できるようになったため回数が増えている。
今後は目標数値を上方修正するように進めていく。

◇ (事務局提案)食育について

- 地元産水産物が徐々に給食に使用されてきたにも関わらず、食育という面で農業と違い漁業は安全性の問題もあり体験がなかなか出来ない実情がある。
そのため、教育委員会との調整が必要であるが、映像等で市内漁業の紹介ができる教材を作成し、配布できないかと考えている。
そのため、どのような教材がいいか今後部会で検討できないか。
 - 今度洋上での養殖魚の出荷があるので見学できる。
 - ▷ 船に乗る必要があるので実現は難しいため、事務局で撮影。
 - 県外では学校とオンラインで繋いで水産業を紹介している地域がある。
そのようなシステム環境、協力してくれる漁業者がいれば紹介できる可能性もある。
 - 県として漁業の説明などの協力は可能である。

部会開催日:R3.5.7(金)

令和3年度 第1回 香南市産業振興計画 商業部会 報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎仙頭 秀雄	香南市商工会	出
2	○福井 律	お菓子と雑貨 おひさん	出
3	近藤 洋好	旅館 かとり	出
4	門田 直也	(有)マルオカ	出
5	桂 信太郎	高知工科大	出
6	釣井 弘二	高知銀行 野市支店	出
7	塚本 裕司	高知県経営支援課	出
8	山崎 優姫	高知県計画推進課	出

	氏名	所属	出欠
1	浜田 悦秀	商工観光課	出
2	萩野 大輔	商工観光課	出
3	小林 辰徳	商工観光課	出
4	山下 剛	商工観光課	出
5			
6			
7			
8			

☆ 商業部会の開催内容

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議題

- (1) 令和2年度 商業分野の取り組み実績について
- (2) 令和3年度 商業分野の取り組みについて
- (3) 新型コロナウイルス感染症に関する今後の施策について

4. その他

5. 閉 会

○『令和2年度の総括』について【PDCA】

【P】（目標値）

【数値目標1】

○令和2年度 目標値：『商業者数 813 者』

○令和2年度 実績値：『商業者数 779 者』

【数値目標2】

○:令和2年度 目標値：『新規事務系企業数 2 企業』

○:令和2年度 実績値：『新規事務系企業数 1 企業』

数値目標1	年度	基準値 (H30年度)	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値	5年間の達成 (達成度合)	備考
商業者数 (事業所)	目標値	-	813	814 →再設定を 予定	815 →再設定を 予定	816 →再設定を 予定	817 →再設定を 予定	817 (延べ) →再設定を 予定		香南市商工会が毎年高知県へ報告している日本標準産業分類(大分類)のF~O・Q・Rに分類される事業所数。 ※H30年の基準値813事業者から年間の創業者数が廃業者数を上回るように目標数値を設定
	実績値	813	779							
	達成 (評価)	-	C							
新規事務系企業数 (企業/年)	目標値	-	2	2	2	2	2	10 (累計)		香南市内の空き店舗等を活用し、市内住民を雇用することを前提に、首都圏等から進出していたく新規事務系企業数。
	実績値	-	1							
	達成 (評価)	-	C							

【D】（実行内容）

目標値である商業者数 813 者に対し、実績値が 779 者と大幅な減少となり、数字上は B 評価だが、目的は商業者数の維持であったことから評価は C とした。

この目標値は平成 30 年度に香南市商工会が高知県に報告を行った事業者数を基準値とし、そこから目標値の設定を行ったが、新型コロナウイルス感染症に係る各事業の周知等の際に連絡の取れない等の事業者が見受けられたことから、R2 年度に商工会による事業者の確認調査が行われた。

この結果、すでに廃業・店舗がなくなっている事業者(多くは非会員事業者)が多かったことがわかり、大幅な減少となった。

R3年度は、これらのことを鑑み、再度目標値の設定について部会内で協議を行うこととしている。

新規事務系企業数は目標値2社に対して、実績値は1社であり、達成評価はCとなった。

新型コロナウイルス感染症の影響により首都圏企業に対するアプローチの機会が減少したことに加え、首都圏等ではオンラインの導入が加速しテレワークの普及等により、雇用の在り方や働き方に対しても大きな転換期を迎えたことが影響している。

数値目標達成に向けた取り組みは次頁のとおり。

○空き店舗活用に向けた取り組み

- ・ 新規事務系企業誘致のために、オンラインイベントへの参加や立地検討企業の市内視察、補助制度等の説明を行う等し、誘致活動を行った。
また、既存誘致企業の雇用支援(求人情報の発信)を行った。
- ・ 空き店舗等対策事業費補助金を市 HP 等で広報を行い、1件の問い合わせがあった。

○担い手の確保に向けた取り組み

- ・ 未来人材育成奨学金返還助成事業は、要綱改正や企業訪問による事業案内、企業説明会等で事業周知を行った。
- ・ 創業支援等事業計画の計画期間終了に伴い、計画期間の延長を行い、国の承認を得た。
- ・ 創業支援利子補給金は、市 HP への掲載や金融機関への事業周知を、申請は計3件(継続1件、新規2件)となった。

○商業支援

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で資金繰り等が悪化した事業者のセーフティネット保証の認定を行った。
- ・ JPQR(日本統一 QR コード)の説明会や HP 作成講習会を実施し、キャッシュレス決済の普及や HP 作成による事業者の認知度向上を図った。
- ・ R2 年度も実施した香南カーニバルを、新型コロナウイルス感染症対策として、事業内容の大幅な拡充を行い、市民等の消費を喚起し、飲食店等の売上回復等の支援を行った。
- ・ 地場産品販売促進事業では、新たな事業者開拓や季節商品の開発を行うとともに、イベント等へ出店し積極的に PR を行った。
また、HACCP 義務化に伴い、保健所の協力を得て HACCP 研修会を実施した。

<コロナ対策支援事業>

- ① 香南市事業者等応援給付金
- ② 香南市事業者相談窓口の設置
- ③ 香南市産業振興計画推進事業費補助金
- ④ 香南市小規模事業者持続化補助金
- ⑤ 香南市先端設備等導入支援事業費補助金
- ⑥ 香南 BIG カーニバル「飲食店応援バルチケット」
- ⑦ 香南市プレミアム商品券

【C】（チェック/確認）

○空き店舗の活用に向けた取り組み

- ・ 新型コロナウイルス感染症の事業者支援を優先したため、事業の実施を翌年度に見送った事業がある。
- ・ 空き店舗等対策事業費補助金は、1件の問い合わせがあったが、対象業種ではなかったため利用につながらなかった。
また、十分に事業の周知ができていないことも申請件数や問い合わせが少ない要因だと思われる。
- ・ 新規事務系企業誘致については、新型コロナウイルス感染症の影響により首都圏企業に対するアプローチの機会が減少したことに加え、首都圏等ではオンラインの導入が加速しテレワークの普及等により、雇用の在り方や働き方に対しても大きな転換期を迎えている。

○担い手確保に向けた取り組み

- ・ 新型コロナウイルス感染症の事業者支援を優先したため、事業の実施を翌年度に見送った事業がある。
- ・ 未来人材育成奨学金返還事業や創業支援等事業計画等はまだまだ周知ができておらず利用件数等は伸びていないため、事業周知に一層力を入れ取り組んでいく必要がある。
- ・ 事業承継の推進については、事業の承継には事前に相当な時間をかけ準備しておく必要があることから、市広報誌等を活用して、支援機関の認知度向上や事業承継に対する意識の向上を図っていく必要がある。

○商業支援

- ・ 緊急融資保証料補給金の新規申請等は、国によるコロナ融資制度が創設されたため利用がなかったが、R3年度においては国の融資制度が終了するため、必要とする事業者の利用漏れがないよう関係機関等に周知を図っていく必要がある。
- ・ 引き続き、市内事業者に対してセミナー等を開催することで、経営者等のスキルアップや店舗等の魅力向上等につなげ、事業の維持、発展につなげていく必要がある。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響から「お取り寄せ」が身近になったことで売上が向上し、ギフトカタログとふるさと応援寄付金の売上合計は、昨年対比約 116.6%増となった。

【A】（アクション /改善）

○空き店舗を活用した取り組み

- ・ 令和2年度に見送った事業について令和3年度に事業を行う。
- ・ 空き店舗等対策事業費補助金の利用促進を図るため、補助対象業種の拡充を行う。
また、周知を図るため、引き続き市HP等への掲載や関係機関等への説明・周知を実施する。

- ・ 企業訪問とオンライン会議を併用し、企業誘致活動を積極的に行う。
また、引き続き、立地企業の雇用支援(市HPや広報誌等)を実施していく。

○担い手確保に向けた取り組み

- ・ 市と商工会で連携し、市内事業者が事業承継に対する意識を持つように、事業承継のニーズを掘り起こし、県事業引継ぎ支援センター等につないでいく。また、市広報誌等を活用し支援機関の認知度向上等を図る。
- ・ 未来人材育成奨学金返還事業は、引き続き、企業訪問や懇談会等で事業者にも周知を図るとともに、城山高校合同企業説明会において、学生にも事業紹介を行うことで利用件数の増加を図る。
- ・ 創業支援等事業計画の内容やメリット等を金融機関等の関係機関に訪問し周知を行い、創業時に事業計画のブラッシュアップ等の支援を行う。

○商業支援

- ・ 飲食業以外の業種にも参加できるようにする等、新たな形で香南BIGカーニバル事業を実施し、落ち込んでいる市内経済の活性化を図る。
- ・ ギフトカタログWEBサイト(ECサイト)のリニューアルを行い、サイトの利便性や商品の視覚的訴求の向上を図り、売上増を図っていく。
また、新たな取扱事業者や取扱商品の増加を図るため、積極的に事業者にも声かけや提案を行い、商品のマンネリ化を防ぎ、リピーター確保につなげる。
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響は長期化しており、地域商業等の維持のために継続した支援を実施する。

○ 令和2年度の総括についての意見等

【主な意見】

◇ 数値目標について

- 事業者数の目標数値は見直しをした方がいいと思うが、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化しており、その影響を注視してから見直した方がいいのではないかと。周囲の事業者の中には、廃業を考えている方もいる。
目標に対する進捗が悪い。進捗がよくなければ見直すことも必要ではないかと。

◇ 空き店舗を活用した取り組みについて

- 事務系企業誘致については、ヤ・シィパークにIT企業が入る等、すごくいい取り組み。

◇ 新型コロナウイルス感染症の事業者への影響について

- 現時点で新型コロナウイルス感染症の影響を受けていない事業者もあると思うが、将来的には影響が出てくると思われる。

例えば、建設業は、たくさんのお金をコロナ対策のために使っており、将来的に公共工事に使えるお金が減り、発注量が減り受注量が減る等の影響がでてくると思われる。

また、コロナ禍において資金繰りを支援するために融資が増加したが、リーマンショック時と違い、コロナがなければまったく必要がなかったもので、ただ負担が増えただけという状況であり、ここ3～4年は大変苦しい時期になると思われる。

○ 令和3年度の取組についての意見等

【主な意見・提案】

◇ 空き店舗を活用した取組みについて

- 観光を目的とした方を商店街等に足を運んでもらうには、工夫・アイデアが必要。例えば、龍河洞のように若い方たちがどんどんチャレンジショップみたいな形で新規出店している。以前は商店街にいろいろなお店があり、徒歩でいろいろな買い物ができていた。少しでもそうなればいいが、商売をしている人も少なくなってきたし、活性化させたいと思っている方がいるか少し心配である。
- 井上ワイナリーさんの醸成所が新たにできたというお話を伺っていることから、ワインを核とした「生産・仕入・小売・食事・宿泊・駅」等の連環産業の取組みに力を入れてはどうか。
- 香南市内には、県立のいち動物公園、青少年センター、ゴルフ場等、県下有数の施設がある。そういった施設との連携を強化していく必要がある。

◇ その他

- 香南市全体のPR動画はあるが、全体をPRするのではなくターゲットを絞った・特化した形でPRを行うほうが良い。

部会開催日：R3.4.28(水)

令和3年度 第1回 香南市産業振興計画工業部会報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎黒原 正仁	YAMAKIN株式会社 総務課長	○
2	○吉田 元雄	香南市商工会 工業部会長	○
3	川久保 武志	カワクボFACTORY株式会社 代表取締役社長	○
4	石川 幸広	四国職業能力開発大学附属 高知職業能力開発短期大学校 能力開発部長	○
5	岩崎 佳世	公益財団法人高知県産業振興センター 総務企画部総務企画課 課長	○
6	森田 清史	香南市商工会 経営指導員	○
7	五島 一成	株式会社精工 高知工場 工場長	○
8	栗山 なるみ	高知県計画推進課 地域支援企画員	○

	氏名	所属	出欠
1	浜田 悦秀	商工観光課	○
2	萩野 大輔	商工観光課	○
3	小林 辰徳	商工観光課	○
4	楠瀬 貴也	商工観光課	○

☆ 工業部会の開催内容

1. 開 会

2. 挨拶

3. 委員自己紹介

4. 議題

- (1) 令和2年度 工業分野の取り組み実績について
- (2) 令和3年度 工業分野の取り組みについて
- (3) 新型コロナウイルス感染症に関する今後の施策について

5. その他

6. 閉 会

○『令和2年度の総括』について【PDCA】

【P】 (目標値)

数値目標	年度	基準値 <small>(前年度実績)</small>	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値 <small>(目標)</small>	5年間の進捗 <small>(達成率)</small>	備考
製造品出荷額 (億円)	目標値	500	360	380	400	420	440	2,000		工業統計調査 (調査年は前年度の製造品出荷額) ※R元年工業統計結果(速報)の造品出荷額344億円から、R2年度以降に操業開始を予定している企業の事業計画による見込みと、第2期からの支援施策による増加分を見込んだもの。
	実績値	344	344							
	達成 (評価)	B	B							
新規雇用者数 (人)	目標値	-	5	8	19	16	15	68		市内立地企業に新たに雇用された市在住の人数 ※立地企業の事業計画に基づく予定雇用者数の内、現在雇用している方を差し引いた人数の半数以上が地元雇用者と仮定し、地元雇用者数の70%を見込んだもの。
	実績値	-	20							
	達成 (評価)	-	A							

【D】 (実行内容)

数値目標である製造品出荷額 360 億円に対し、実績値が 344 億円であったことから、達成評価は B となった。

(H30年:3,440,836万円 R元年:3,442,855万円 前年比:+0.1% 2,019万円増)

また、もう一つの数値目標である新規雇用者数については、令和3年3月31日現在で20人の新規雇用があり、目標値を上回ったことから達成評価は A となった。

■数値目標達成に向けた取り組みは以下のとおり。

○企業誘致の促進

- ・ 新規工業団地整備事業は、適地調査を実施し香我美町下分地区を最終候補地に選定。
- ・ 川谷刈谷地区工場用地分譲は、令和3年3月に(株)タケナカダンボールに分譲を実施。
- ・ 香南市企業立地促進事業費補助金を制定し、令和3年度に向けて企業誘致支援制度の充実を図った。

○既存企業の育成・支援

- ・ 合同企業説明会を2回開催し、若者の地元定住に繋がる取り組みを行った。
- ・ 企業訪問を強化し、新型コロナウイルス感染症の影響による雇用や経営状況の把握に努め、以下のコロナ対策支援事業を新設することで事業所の支援を行った。

<コロナ対策支援事業>

- ① 香南市事業者等応援給付金事業
- ② 香南市事業者相談窓口の設置
- ③ 香南市産業振興推進計画事業費補助金

- ④ 香南市小規模事業者持続化補助金
- ⑤ 香南市先端設備等導入支援事業費補助金

【C】 (チェック/確認)

○企業誘致の促進

- ・ 予定していた取り組みは各事業とも目標値を達成し、全てA評価となった。

○既存企業の育成支援

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため、商談会、ものづくり教育推進事業等を見送っており、目標達成とならなかった。
- ・ 各種支援事業については、新型コロナウイルスの影響による設備投資の減少や、周知不足により目標値に届いていない。

【A】 (アクション /改善)

○企業誘致の促進

- ・ 新規工業団地の最終候補地に選定された香我美町下分地区について、地権者や地元の土地改良区やまちづくり協議会等の関係機関に十分な説明を行ったうえで、造成基本設計に着手する。
- ・ 新たに制定した香南市企業立地促進事業費補助金により、工場の新設を予定している立地企業の設備投資支援を行うとともに、企業説明会や面接会を支援開催することで、地元雇用の促進に繋げる。

○既存企業の育成支援

- ・ 引き続き企業訪問を継続し、新型コロナウイルス感染症の影響による雇用や経営状況の把握に努めるとともに、各種支援事業の利用件数増加に繋がるよう、関係機関と連携して周知を強化する必要がある。

○ 令和2年度の総括についての意見等

【主な意見】

◇新規工業団地整備事業について

- ・ 最終候補地付近は交通量の増加が懸念される。地域の生活に支障を来さないよう、既存道路の拡幅等も検討していただきたい。

◇香南市未来人材育成奨学金返還助成事業について

- ・ 市の広報誌に掲載すれば、市民(学生)にも周知が図れるので効果があるのではないかと。

○ 令和3年度を取組についての意見等

【主な意見・提案】

- ・ 小規模事業者持続化補助金等の各種支援施策については、引き続き商工会等の関係機関と連携して取組みを進めること。
- ・ 香南市技能功労者表彰制度については、初めての取組みとなるので各工業分野への周知をしっかりと行うこと。
- ・ コロナ関連事業については、国の交付金の動向もあると思うが、市も継続して取組みを。
- ・ 人材育成事業も奨学金助成事業と併せてPRをしていくこと。

令和3年度 第1回 香南市産業振興計画 観光部会 報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎森尾 美紀	香南市観光協会	出
2	○塩井 政利	香南市歌舞伎でまちおこし 実行委員会	出
3	堀田 幸雄	高知県立のいち動物公園協会	出
4	長山 哲雄	高知工科大学	出
5	大石 祥子	香南市商工会	出
6	岡林 順子	創造広場「アクトランド」	出
7	山崎 優姫	高知県産業振興推進部 計画推進課	出
8	永野 裕介	土佐くろしお鉄道株式会社	欠
9	濱中 秀彦 (坂本辰也委 員の代理)	リゾートホテル海辺の果樹園	出
10	西川 満	物部川 DMO 協議会	出
11	中村 文昭	サイクリング専門委員会	出

	氏名	所属	出欠
1	浜田 悦秀	商工観光課	出
2	萩野 大輔	商工観光課	出
3	伊藤 正和	商工観光課	出
4	田中 菜生	商工観光課	出
5	小林 辰徳	商工観光課	出
6	平尾 智美	商工観光課	出
7	齋藤 光明	商工観光課	出

☆ 当日の流れ

1. 開 会

2. 議事進行

- ① 令和2年度の総括について
(令和2年度の新型コロナウイルス感染症関係事業含む)
- ② 令和3年度に向けた取組について
(令和3年度の新型コロナウイルス感染症関係事業含む)

3. その他

4. 閉 会

○『令和2年度の総括』について【PDCA】

【P】（目標値）

数値目標1	年度	基準値 <small>(前年度)</small>	R2	R3	R4	R5	R6	最終目標値 (累計)	5年間の達成 (達成度合)	備考
観光施設入込客数 (万人)	目標値	120	107	110	114	117	121	569		観光庁の「観光客入込客統計に関する共通基準」に該当する下記対象施設の入込客数。 (暦年1-12月の合計) 【対象10施設】 ①県立のいち動物公園・・・148,066 ②月見山子どもの森・・・26,181 ③ヤ・シィパーク・・・297,842 ④絵金蔵・・・3,806 ⑤天然色市場・・・0 ⑥やすらぎ市・・・206,573 ⑦あぐりのさと・・・19,555 ⑧黒潮温泉・・・87,636 ⑨創造広場「アクトランド」・・・57,136 ⑩土佐カントリークラブ・・・60,998
	実績値	104.5	90.7							
	達成 (評価)	B <small>(※11施設)</small>	B							

【D】（実行内容）

- 観光施設入込客数は目標値 107 万人に対し実績値 90.7 万人であり、達成率 85% (対前年比 87%) となり評価は B となった。

目標は達成できなかったが、コロナ禍でも規模の縮小や感染防止対策によりサイクルイベントや「塩の道トレイルランニングレース」等実施できたものもあった。

また、誘客促進のため、ヤ・シィパークでは感染対策を徹底しての海水浴場の開設を行った。物部川 DMO 協議会では「SSS(スリーエス)認証制度」による「安心、安全」で観光を実施するための施設強化を行った。

○ コロナ対策の取り組み

- ① 香南市で遊ぼう割♪キャンペーン
- ② 香南市に泊まってもらおうクーポン券事業
- ③ 宿泊事業者支援給付金
- ④ 香南市観光テレビで全国へ PR 事業
- ⑤ タクシー・観光バス事業者支援給付金

【C】（チェック/確認）

- 観光施設入込客数は目標値 107 万人に対し実績値 90.7 万人であり、達成率 85% (対前年比 87%) となった。

【A】 (アクション /改善)

- 「香南市で遊ぼう割 Vol.2+泊まろう割 ♪キャンペーン」を R3.4.28 から R3.8.31 まで実施し、観光入込客数の回復を図る。
- 道の駅やすにレンタサイクル施設を整備し、自転車による市内の周遊促進を図る。
- また、コロナの影響で、少人数での旅行実績が増えていることから、個人旅行向けのコンテンツやレンタカープランを充実させ、販路の開拓も行う。
- 教育旅行(修学旅行)や遠足の需要も増えているため、近隣県や県内へのセールス活動を実施し、入込客数の増加を図る。
- 新型コロナウイルス感染症の感染状況等を見極めながら、情報発信等や観光商品を充実させることにより、メインターゲットである関西圏からの誘客を図る。

○ 令和2年度の総括についての意見等

【主な意見】

◇ HP のスマートフォン対応について

- HP を閲覧するのはパソコンよりもスマートフォンが多い。
市の HP のスマートフォン対応について取り組めないか。

- ▶ 以前より当部会でもこのことについてご意見をいただいている。
また、策定委員会や当市の人生支援計画の中でも同様のご意見が発意されていたことから、当初 R4 年度に予定をしていた当市 HP のスマートフォン対応型への移行事業を本年度(R3 年度)より取り組んでいる。
もう少しお待ちいただきたい。

○ 令和3年度 of 取組についての意見等

【主な意見・提案】

◇ GW 期間中の施設の状況について

- 創造広場「アクトランド」では、R3.5.2～R3.5.5 まで「食のイベント」としてキッチンカーに来てもらった。
展示館イベントも 2 か所行った。
R3.5.5 は天候不順で少なかったが、5.2～5.4 は 1,000～1,200 人が訪れた。
繁忙の時間でもそこまで密になることなく楽しんでいただけた。
遊ぼう割では展示館のイベントに使ってもらえる入館プランとものづくりに使ってもらえるプ

ランを用意している。

展示館の方は県内が8割。ものづくりは9割が県内。

高知市からも多く訪れた。引き続き遊ぼう割があるので行ってみたいと思ってもらうプランを検討中。

展示館に香南市の方が来ていて近場で行ったことがないところに行ってみようかとなったのではないかと見受けられる。昨年度は、修学旅行の生徒が多く来た。

- 県立のいち動物公園のR3.4.27～R3.5.5までの1日当たりの来場客数は1,500人程度。例年であれば土日祝日は2,500人だが今年新型コロナウイルス感染症の影響により県外からの来客数の減少に加え、悪天候が影響をしている。
また、例年5.3～5.5は1万人ほどの来園者がいるが、今年5,600人と半分くらいであった。
来客者の車から、どこから来ているかの割り出しを行っているが、R3年度は県内外の割合は例年の半分程度であった。
内訳は県内7割、県外3割と県外が少なかった。
県外からの来園者のうち、例年は香川県3～4割で一番多いが、今年27%程度。
2番も例年は愛媛県で2割程度だが、今年1割程度。
他県の車では、徳島県も少なかった。また、広島県、岡山県からの車も確認している。

今年平成3年の開園から30周年を迎える。年間を通してイベントを予定している。

また、「ヤブイヌ」という動物を新たに展示予定。早ければ7月公開。

毎年開催を行っている「のいち de ナイト」では、特別にプロジェクションマッピングを予定。加えて、6～7月に動物の絵本作家の原画展示会を予定。

◇ 新型コロナウイルス感染症に関する事業についてのご意見

- 香南市の遊ぼう割は少し前にわかっていたが、トク割キャンペーンなどの情報が開始直前に情報が来る。
もっと事前にわかっていたらHP等で周知してそれを見てきてくれる流れができる。
新型コロナウイルス感染症に関するさまざまな事業等に取り組んでいただき、助かってはいるが、できるだけ早く情報を共有いただくことで、事業者側は事業をより活用できる。
来ていただいた方に使ってもらうことも重要だが、来ていただくためのツールとして活用したい思いもあることから、ご協力をお願いしたい。
 - 観光協会の方でも市と協力して早めの情報共有をしていく。

会開催日:R3. 4.28(水)

令和3年度 第1回 香南市産業振興計画 サイクリング専門委員会 報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎中村 文昭	NPO 法人高知 CyclingProject Maze-Cle	出
2	○榮枝 俊一	香南市サイクリングターミナル	出
3	富山 明秀	(株) 技研製作所	出
4	内村 幸子	創造広場「アクトランド」	出
5	山根 大輔	高知シクロクロス実行委員会	欠
6	中畠 益男	(公財)高知県観光コンベンション協会	出
7	大崎 優	高知大学地域連携推進センター 高知県サイクリング協会	出
8	久家 英生	香南市交通安全指導員協議会	出
9	弘瀬 沙也香	香南市 観光協会	出
10	山崎 優姫	高知県産業振興推進部 計画推進課	出

	氏名	所属	出欠
1	浜田悦秀	商工観光課	出
2	伊藤 正和	商工観光課	出
3	田中 菜生	商工観光課	出
4	齋藤 光明	商工観光課	出
5	平尾 智美	商工観光課	出
6	小林 辰徳	商工観光課	出

☆ 当日の流れ

1. 開 会

2. 挨拶

3. 議事進行

① 令和2年度の総括について

(令和2年度の新型コロナウイルス感染症関係事業を含む)

② 令和3年度 of 取組について

(令和3年度の新型コロナウイルス感染症関係事業を含む)

4 その他

- ・ 令和3年度のスケジュールについて

5 閉 会

○令和2年度の総括について【PDCA】

【P】（目標値）

○ 令和2年度数値目標：『 サイクルイベント大会参加者数 500人 /年 』

『 サイクルサポーター数 10団体 /年 』

○ 速報値（R3.3月末）：『 サイクルイベント大会参加者数 106人 /年 』

『 サイクルサポーター数 6団体 /年 』

【D】（実行内容）

- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響で今年度計画をしていたイベントの中止や計画の見直しによる延期で目標値を超えることができなかった。
- ・ サイクルサポーター養成のきっかけづくりも新型コロナウイルス感染症の影響で開催できない。

【C】（チェック/確認）

- ・ 数値目標である「サイクルイベント参加者数」の実績は106となっている。
- ・ サイクルサポーターは以前までの取り組みから6団体。

【A】（アクション /改善）

- ・ 新しいイベントとして「キッズバイク」イベント(参加者:136人)等も創出されている。今後は、コロナ禍で小規模化を図る等イベントを開催できるようにしていく。
- ・ サイクルサポーターは制度として確立させ、①思いやり1.5mステッカーの配布②ヘルメット購入補助③サイクルラック貸出④駐車場の整備補助⑤イベント等への協力を踏まえ、サポーター制度へのメリットを広報等でPRし、サポーター数を獲得していく。
- ・

○取組についての意見等

【主な意見】

◇ サイクルツーリズムの推進

- ツールドトレインの開催も大事だが、公共交通機関の輸行バッグの利用状況について聞

きたい。

➤ 昨年度、輸行バッグの利用は1件。

- シクロクロスカップのヤ・シィパーク開催分は継続していきたい。しかし、物部川河川敷実施について、実行委員会の持ち出し等が多くなり、厳しい状況。

➤ 単独で行うのでは大変なので、別の教室やイベント一緒に行ってはどうか。

➤ 物部川河川敷で行われる、物部川DMO協議会主催の「ものべがわフェスタ」等と同時開催ができるか声掛けを行っていく。

◇ 自転車を活用した健康づくり

- 香南市民への交通ルールがどこまで浸透しているのか？令和3年度の普及活動は？

➤ 子ども対象の交通安全教室は、交通安全指導員さんらと一緒にしているが、大人の学ぶ場がない。

R3年度はNPO 法人高知 CyclingProject Maze-Cle が主催する大人向けの自転車運転教室を企画している。

◇ その他

- KPIについて

➤ レンタサイクル推進事業(道の駅やすへのレンタサイクル施設)指数をR4年から反映したいので、R4年から「策定中」としたい。

➤ 三宝山ヒルクライムに代わり「ドラゴンヒルクライム」として、R3年は新型コロナウイルス感染症に配慮し、大規模でなく少人数「30人」から始めたい。

➤ ポタリングについて、1回の定員が20人となっていたが、新型コロナウイルス感染症により、飲食店が席数制限等のため定員を「15人」に変更したい。

▷ 委員 承認

○令和2年度の新型コロナウイルス感染症関係事業を含む

◇香南市で遊ぼう割♪キャンペーン事業のレンタサイクル利用件数を報告

➤ 意見なし

○ 令和3年度に向けて

【主な意見・提案】

◇ 自転車を活用した健康づくり

- 交通安全教室の開催について、大人向けの交通安全教室はできないか？市職員対象にも開催したい。
 - NPO 法人高知 CyclingProject Maze-Cle が行う教室は大人も対象にしている。職員対象にも交通安全教室を開催しているので、自転車の内容も一緒に学べるよう担当の当市総務課へ伝える。

- サイクルサポーター制度について、サポーターになりたいが、サイクルラックを置けないところに、空気入れや修理のできるスペース等サイクリストに少し役立つものを含めてほしい。
 - サイクルラックに代わるものも考えていきたい。

- サイクリングターミナルもサイクルオアシスになっており、空気入れ、サイクルラックがあり、チューブ販売もしている。のぼり旗が目印となって良い。
 - サポーターには目印になるものがあれば良いですね。

- 当初サイクルサポーターは地元の市民、事業所に自転車を使ったまちづくりに関心を持ってもらうことから始まった。そのため、事業所の皆さんがサイクリストを利用してもらって利益を上げることにつながる制度にするべき。他県の事例も調べてもらって、おもてなしの部分以外にも事業者に関心を持ってもらう制度にするべきだと思う。
 - 地元に関心を持ったもらうことを大切にすることを念頭におきながら、検討していきたい。

令和3年度 第1回 香南市産業振興計画 住宅部会 報告書

◇ 部会委員 ◎ 部会長 ○ 副部会長

	氏名	所属	出欠
1	◎ 野島 浩一	建設課長	出
2	山本 貴博	建設課	出
3	山中 洋栄	建設課	出
4	岡林 栄一	防災対策課長	出
5	赤松 夕夏	防災対策課	出
6	村山 敦	住宅管財課長	出
7	岡崎 伊知郎	住宅管財課	出
8	岩田 由子	地域支援課長	出
9	小川 哲弘	地域支援課	出

	氏名	所属	出欠
1	西内 栄一	企画財政課長	出
2	小松 大洋	農林水産課	出
3	萩野 大輔	商工観光課	出
4	小林 辰徳	商工観光課	出

☆ 当日の流れ

1. 開 会

2. 議事進行

① 令和2年度の総括について

② 令和3年度に向けた取組について

3. その他

4. 閉 会

○ 令和2年度の総括についての意見等

◇ 住環境の整備

- 住宅リフォーム推進事業は、人気の高い取り組みとなっており、補助金を含む総事業費は11,263万円であり、市内経済の発展に寄与している。
- 市営住宅では、目標値である20戸を超える22戸の市営住宅に単独処理浄化槽から合併浄化槽への変更と福祉対応型改修工事として手すり等を新設する工事を行った。また、令和3年度に合併浄化槽等の設置工事を予定している22戸の工事設計が終了した。
- 宅地造成事業については、事業規模を想定するための概略検討資料（造成平面計画作成・施設検討・概算工事費作成等）の作成をした。

◇ 住環境の整備耐震化事業

- 耐震化事業については、第1期計画期間において一定事業が進んだ影響もあり、申請は減少傾向にある。

◇ 空き家対策事業

- 老朽住宅等除却事業については、老朽化した空き家の増加や制度が住民に広く認知され増加傾向にある。
- 空き家バンク事業については、広報による周知のほか、空き家調査の効率化を図るため、まちづくり協議会に空き家情報の提供を依頼し、空き家情報の収集強化に努めた。今後、収集した情報を基に活用できる空き家の掘り起こしを行い、登録件数の増加を図っていく。
- 空き家改修事業については、相談窓口での制度説明等の周知を図ったことにより申請件数が増加した。

○ 令和3年度の取組についての意見等

◇ 住環境の整備

- 継続的な取組に加え、移住地の確保や市街地との人口格差解消のための新たな宅地候補地の選定及び整備に取り組み定住の促進を図る。

◇ 住環境の整備耐震化事業

- 引き続き、耐震の重要性に向けた周知を図り、「香南市耐震改修促進計画」に沿った達成を目指し取り組んでいく。

◇ 空き家対策事業

- 今後も制度の周知を継続するとともに、まちづくり協議会など地域と連携した空き家情報の収集に努め、状態に応じて、除却や空き家バンク登録による利活用の推進に取り組んでいく。

また、空き家改修事業は、補助金額の上限を県に合わせて182万4千円から185万7千円に変更し、空き家対策の支援の充実を図っていく。